

第48回 教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2014年2月23日（日） 10：30－16：50 私立海城高校

2 参加者

根本、畠山、瀧上、宮嶋、山下、南島、川村、上村、小尾、飯田、小林

3 前回議事録の確認

誤字について一部修正した他は、議事録案の通りに承認された。

4 新委員の紹介

新委員の西武文理高校・小林則彦氏（連合会員、埼玉）が参加し、紹介があった。

5 中教審関連・理数系学会・他研究団体等の情勢報告

○理数系学会・他研究団体等

- ・情報処理学会が次年度の教員免許状更新講習を開催するよう準備を進めていることが報告された。
- ・CSERS（教科理科関連学会連絡協議会）が5/17に行う次期学習指導要領改訂での総合的な必修理科科目に関するシンポジウムについて、内容検討の概要が報告された。
- ・地学教育学会が進めていた「地学を学べる高校リスト」について、一部府県についてHPに公開したことが報告された。

○教育問題検討委員会関連の報告事項

- ・連合が次年度に教員免許状更新講習を開催するにあたり、どのような内容が考えられるかについて意見交換を行った。3月14日〆切を目指して、申請を行うよう努力することを確認した。
- ・次年度連合大会の地学教育に関するパブリックセッションの予稿原稿が無事取り揃ったことが報告された。

○その他

- ・第6回国際地学オリンピックの第一次予選通過者が70名選出されたことが報告された。
- ・日本学術会議科学力増進分科会に「高校理科教育検討小委員会」を設置され、地学からは縣氏（国立天文台）、宮嶋委員が地学教育学会および連合選出として就任予定であることが報告された。

6 協議

（1）連合大会パブリックセッションでの提案に向けた科目検討

A案、B案に分かれて協議を行った。

（2）各種働きかけの進捗状況について

- ・地学基礎の履修率向上に関する文科省への意見書提出は、年度内に在京の連合副会長、地学教育学会長、教育問題検討委員長が揃って行うことを確認した。
- ・教員採用及び地学開講の各都道府県教委への要望書について、内容と体裁を整え、地学基礎の履修率向上の意見書と共に理事会の承認を受けることを確認した。
- ・教科書用語の統一について、教育問題検討委員会内にWGを立ち上げ、加盟学協会に専門用語を教育用語、学術用語に区別してもらう提案を連合大会時の教育問題検討委員会にて提案することを確認した。

7 次回小委員会（WG）について

次回小委員会は3/21（金・祝）に私立海城高校を会場に行なうことを決定した。なお、次々回の小委員会は、4/13（日）を候補日として調整を行うことを確認した。